各種国際指標から見た北欧諸国

北欧諸国の人々の幸福度は高い。平和を享受し、環境との調和にも取り組んでいる。

北欧諸国は、フローである GDP が高いことに加えて、ストックとしての「国民の豊かさ」も実感している。もっとも、人々の幸せは、「物の豊かさ」だけでは測れない。

そこで、GDP に替わる代表的指標である「人間開発指数」を見ると、北欧諸国も高く評価されている。特に、女性の社会進出を示す指標の高さが顕著である。母親になる環境も一番整っている。

眼をマクロレベルに転じれば、公的社会支出や教育費の支出割合が高く、平等な社会が実現しており、「物の豊かさ」が「社会の豊かさ」として実感できるに至っている。しかも、この平等な社会は停滞しているわけではなく、国際競争力が高い。

このように各種国際指標から高く評価されている北欧社会を支えているのは、社会の基盤となる制度の充実とそれに対する人々の信頼である。あわせて、高等教育にとどまらず、初等教育さらには保健制度全般の整備が進んでいる。

民主主義が成熟し、報道の自由も保障され、様々な政治参加が実現している。政治的自由や市民的自由が保障され、公的部門の透明性が高い。私的経済活動も競争力が高く、市民の社会参画意欲も高い。このようにバランスの取れた北欧型社会・国家モデルから学ぶべき点は多い。

資料番号	主な国際指標	スウェーデン	フィンランド	ノルウェー	デンマーク	日本	米国
1	国民の幸福度	7 位	6 位	19 位	1 位	90 位	23 位
19	平和度	6 位	9 位	3 位	2 位	7 位	83 位
20②	環境パフォーマンス	4 位	12 位	5 位	32 位	20 位	61 位
12	国民一人当たり GDP	6 位	12 位	2 位	5 位	14 位	8 位
50	国民の豊かさ(OECD 内)	3 位	5 位	2 位	9 位	7 位	12 位
14	人間開発指数	10 位	22 位	1 位	16 位	12 位	4 位
	ジェンダー不平等指数	1 位	5 位	6 位	3 位	14 位	47 位
18	公的社会支出(OECD 内)	1 位	8 位	15 位	5 位	20 位	27 位
38	教育費の支出(OECD 内)	7 位	13 位	23 位	5 位	24 位	3 位
16	国際競争力(総合)(WEF)	3 位	4 位	16 位	8 位	9 位	5 位
49	国際競争力(基盤制度)	2 位	4 位	7 位	5 位	24 位	39 位
	国際競争力(保健・初等教育)	18 位	1 位	21 位	28 位	9 位	42 位
51	民主主義の成熟度	1 位	6 位	2 位	5 位	17 位	18 位
52①	政治的・市民的自由度	1 位	1 位	1 位	12 位	53 位	32 位
52②	報道の自由度	4 位	2 位	2 位	4 位	33 位	24 位
53①	汚職・腐敗の少なさ	3 位	6 位	11 位	2 位	17 位	19 位
55	母親になるのにベストな国	4 位	7 位	1 位	5 位	28 位	31 位